

茂原市ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)について

「ハートフルフェスタ」は、ハートフルフェスタ実行委員会が企画する男女共同参画社会づくりに関する意識の定着を図る催しで、毎年1～2回実施しています。

◆ ハートフルフェスタ実行委員会

男女共同参画社会づくりの推進には、市民一人ひとりの意識改革が必要です。

この課題に市民の皆さんとともに取り組むため、「茂原市ハートフルフェスタ実行委員会」の委員を公募しました。現在、第7期 14名の委員が地域とのパイプ役となり、男女共同参画に係る講演や講座などの企画立案や広報などの活動を通して、「男女共同参画のまちもばら」の実現を目指しています。委員が中心となり企画・運営を行っているものは以下のとおりです。



これまでのハートフルフェスタ実施内容

第1回 平成 23 年 10 月 22 日(土)【参加者 112 名】

- ・ジャズコンサート Swing Vivo
- ・基調講演会「心豊かにいきいきと 私らしく・あなたらしく生きるために」
- ・講師 松田敏子氏(千葉家庭裁判所調停委員・参与員、ちば菜の花会世話人代表)
- ・パネル・ディスカッション(公開座談会)「ともに輝く地域づくり～いっしょに描こう これからの協働と市民参画」

第2回 平成 24 年 3 月 24 日(土)【参加者 120 名】

- ・講談「ハンサムウーマン新島八重」 ・演者 講談師「渥美右桜左桜」&「渥美矢梅」
- ・講演会「誰もが輝いて生きるために」 ・講師 渥美雅子氏(弁護士)

第3回 平成 25 年 2 月 3 日(日)【参加者 93 名】

- ・バスクラリネット・アンサンブル ラス・クラリネーテス
- ・パネル・ディスカッション(男女共同参画懇談会)「家庭・そして地域での共同参画」
- ・コメンテーター 小泉直美氏(千葉県男女共同参画課企画調整室長) ・パネラー 一般市民各世代男女 7 名

第4回 平成 26 年 2 月1日(土)【参加者 91 名(男 19 名、女 72 名)】

- ・講演会「大規模災害に備えて～男女の視点で見る防災対策～」
- ・ワークショップ 災害時便利グッズの作成 (ビニール袋で作る防寒着、ほっとタオル)
- ・講師 坂内美佐子氏(SL 災害ボランティアネットワーク理事)

第5回 平成 26 年 12 月13 日(土)【参加者 65 名(男 23 名、女 42 名) 託児利用者 3 名】

- ・講演会「茂原市地域防災計画について」・講師 大橋康博主査(茂原市防災対策室)
- ・講演会「大規模災害に備えて～男女の視点で見る防災対策」
- ・ワークショップ 災害時便利グッズの作成 (ビニール袋で作る防寒着、ダンボールトイレ)
- ・講師 坂内美佐子氏(SL 災害ボランティアネットワーク理事)

第 6 回 平成 28 年 1 月 23 日(土)【参加者 680 名(男 260 名、女 420 名) 託児利用者 9 名】

- ・講演会「男女ともにより短時間労働で楽しく暮らす方法を考える」
- ・講師 勝間和代氏(経済評論家・内閣府男女共同参画会議議員)

第 7 回 平成 28 年 3 月 26 日(土)【参加者 130 名(男 36 名、女 94 名)】

- ・講演会「パートナー文化を！～女と男の 厳しくとも やさしい関係～」
- ・講師：菅野典雄氏 (福島県飯舘村村長)

ハートフルフェスタ実施内容

前ページからのつづき



第8回 平成29年2月4日(土)【参加者 135名(男40名、女92名)】

- ・講演会「女性も男性もいきいき暮らせる街 茂原～男女共同参画の実現を目指して～」
- ・講師 堂本暁子氏(前千葉県知事)

第9回 平成30年1月27日(土)【参加者 165名(男33名、女132名)】

介護現場の最前線で長年にわたり活躍された坂下さん。実務経験に基づき、誰にでも訪れる「老い」についてどう考えるか、美しく年齢を重ね、自分らしく生きてゆくことについて、お話を伺いました。

- ・講演会「老いの旅路～今、あなたの前になにが見えますか?～」
- ・講師 坂下晴美氏

第10回 平成30年3月24日(土)【参加者 109名(男23名、女86名)】

親業訓練の講師として、またスクールカウンセラーとしても実績のある内田さん。家族・職場・地域等、様々な人間関係で活用できる、相手の気持ちがわかる聞き方・自分の気持ちが伝わる話し方についてお話を伺いました。

- ・講演会「信頼関係を築くコミュニケーションのコツ～楽しい人生を送るために、使っちゃいけない?12の言葉～」
- ・講師 内田智代氏(親業訓練シニアインストラクター)

第11回 平成30年10月28日(日)【参加者 79名(男15名、女64名)】

TBS記者から参議院議員、千葉県知事と多方面に渡り活躍されたご経験を踏まえ、少子高齢化、災害・防災、女子刑務所問題、環境問題等、様々な社会問題について、お話を伺いました。

- ・講演会「男女共同参画と我が人生～堂本暁子さんと考える社会問題のいま～」
- ・講師 堂本暁子氏(前千葉県知事)

第12回 令和元年10月20日(日)【参加者 76名(男28名、女48名) 託児利用者 3名】

地域行政や防災、NPO 法人の研究を専門とする萩原氏。災害に強い地域をつくるための、人々の助け合い(共助)についてお話を伺いました。

- ・講演会「共助でつくる災害に強い地域づくり」
- ・講師 萩原なつ子氏(立教大学教授)

第13回 令和2年1月18日(土)【参加者 195名(男69名、女126名)】

テレビやラジオでも活躍中の千葉住職。地球の歴史を24時間に例え、発展著しい人類の歴史に敬意を示すとともに、急激に変容していく社会の中で私たちはどう生きるべきかお話しくださいました。

- ・講演会「現代に活かすブツダの知恵～『七不衰法』と人権～」
- ・講師 千葉公慈氏(東北福祉大学長、曹洞宗宝林寺住職)

第14回 令和4年10月23日(日)【参加者 40名(男7名、女33名)】

教育学と女性学を専門とする内海崎氏。ジェンダーの視点から4曲の歌詞を分析し、その時代を支えた価値観やモノの見方について、ご自宅からリモートでお話しくださいました。

- ・講演会「男女共同参画の実現～アンコンシャス・バイアスの視点から～」
- ・講師 内海崎貴子氏(川村学園女子大学教授)

第15回 令和5年10月1日(日)【参加者 40名(男17名、女21名、回答なし2名)】

日本の女性外来創始者である天野恵子氏。女性と男性でかかりやすい病気、または症状に違いがあることについてお話しいただき、皆さまに男女がお互いを理解し支え合うことの重要性を理解していただきました。

- ・講演会「認知症と性差」
- ・講師 天野恵子氏(静風荘病院特別顧問、元千葉県東金病院副院長)

ハートフルフェスタ実施内容 前ページからのつづき



第16回 令和6年10月25日(日)【参加者33名(男4名、女29名)】

多様化する地域の様々な課題に対応するためには、多様な視点から課題を解決できる多様な担い手や、その一翼を担う女性参画の重要性をお話しいただきました。

- ・講演会『一人ひとりが主役のまちづくり』～ジェンダーと多様性の視点から考える～
- ・講師 萩原なつ子氏(独立行政法人国立女性教育会館理事長)

第17回 令和7年10月25日(土)【参加者41名(男11名、女30名)】

「男女共同参画の視点」から、日本の地域社会の特徴と課題についてお話しいただきました。地域において行政だけでは実現できない課題に対して、私たちは何ができるのかについて考える機会になりました。

- ・講演会「みんなのまち茂原の実現のために～自助・共助・公助～」
- ・講師 関谷昇氏(千葉大学大学院社会科学研究院)

